

香り米「十和」が品種登録されました！

この度、十和錦が農林水産省に「十和」の名称で品種登録されました。十和錦は、上山岩雄さんとチドリさん夫妻が植えた黄金錦の突然変異種です。香りが強いことが特徴で、お米を炊くと部屋中に香りが広がります。仁井田米にもブレンドされている四万十町でも有名な香り米です。

「十和」と表記することができるには、品種登録されたもみから栽培されたものだけとなりますのでご注意ください。

米こめフェスタを開催します！

11月6日（日）に四万十緑林公園にて、「令和4年度土佐の豊穣祭2022 第18回米こめフェスタ」を開催します。本イベントは、食材豊かな四万十町自慢のお米をテーマにした「食のまつり」です。2020年・21年はコロナ特別版としての開催でしたが、今年は出店やステージイベントなど多数の催しを行います。みなさまのご来場をお待ちしております。



令和4年度土佐の豊穣祭2022 第18回米こめフェスタ
開催日時：令和4年11月6日（日）雨天決行
開催時間：開場/10:00 閉場/15:00
開催場所：四万十緑林公園

おにぎりの無料配布や、
各種限定料理の販売も行います！

児童生徒のタブレット端末の持ち帰りが始まります

一人一台のタブレット端末の持ち帰りについて

令和2年度から町立小中学校において導入の始まった一人一台のタブレット端末は、令和4年度1学期までに全学年での整備が完了しました。現在、各学校で様々な教育活動において、タブレット端末の活用を進めています。

タブレット端末の特性・強みを生かすことで、情報活用能力などの従来ではなかなか伸ばせなかった資質・能力の育成や、今までできなかった学習活動の実施が可能となりました。

令和4年度2学期から一部の学校で持ち帰り学習の試行を行っており、10月から各学校や学年での学習に合わせ、必要に応じてご家庭にタブレットを持ち帰って学習する取り組みを始めています。

持ち帰り学習にあたっての基本的な考え方

本町では、全ての児童・生徒が学習などに取り組むための一つのツールとして、タブレット端末を適切に活用し、様々な課題を解決するために必要な力を身に付けることを目指しています。

持ち帰り学習を行うにあたっては、児童・生徒一人一人が、自分の興味・関心に合わせ、タブレット端末を積極的かつ効果的に活用し、自ら進んで学びを深めていくことができるようになります。

また、ご家庭でタブレットでの学習をより安全に、安心して



行っていただけのよう、有害サイトなどへのアクセス制限をするフィルタリング設定など、個人情報保護の対策を行うとともに、情報通信機器の適切な利用に向けた情報モラル教育に取り組みます。

なお、インターネットへの接続環境が確保されていないご家庭においては、タブレット端末とともに無線通信機器を貸し出し、どのご家庭でも学習が行えるよう各学校に機器を整備しています。

タブレット端末を持ち帰ることで期待される効果

①興味・関心に応じた学び

児童・生徒一人一人が、自分の興味・関心や、学習の進度に応じた学びを実現していくことができます。

②学びの連続性

タブレット端末を活用し、学校での学びと家庭での学びを結び付けることで、児童・生徒の資質・能力の一層の向上を図ることができます。

③学びの保障

学習に取り組む場所と時間が広がることで、学級閉鎖などにより授業に参加できない児童・生徒や、様々な理由から教室で授業を受けることが難しい児童・生徒に対応することができます。

また、ご家庭でタブレットでの学習をより安全に、安心して

シンプルもいいけど…味付きご飯もいい

混ぜご飯＆炊き込みご飯のレシピ

鮭とたくあんの混ぜご飯

材料（4人分）

米	2合
鮭フレーク	大さじ4
たくあん	60g
濃口しょうゆ	小さじ1
ごま	大さじ2



作り方

- ①米を洗い、炊く。
- ②たくあんをみじん切りにする。
- ③ご飯に鮭フレーク、たくあん、しょうゆ、ごまを入れて混ぜ合わせる。
- ④お茶碗に盛り、お好みでのりや大葉をのせる。

生姜の炊き込みご飯

材料（4人分）

米	2合
油あげ	小1枚
生姜	20g
にんじん	20g
A	
濃口しょうゆ	小さじ2
料理酒	小さじ2
みりん	大さじ1
だし汁	適量



作り方

- ①米を洗い、ザルに上げておく。
- ②油あげ、生姜、人参を千切りにする。
- ③釜に米、Aの調味料を入れる。だし汁を2合の線まで加えたら、混ぜあわせる。
- ④切った材料をのせ、炊飯器で炊く。